

## ○びわこ成蹊スポーツ大学における研究活動に係る行動規範

平成19年11月12日

制定

びわこ成蹊スポーツ大学(以下、「本学」という。)は、本学における学術研究の信頼性と公正性を確保することを目的として、本学において研究に係わる教職員(以下、「教職員」という。)が主体的かつ自律的に学術研究に取り組む際に求められる基本的な行動規範をここに定める。

本学のすべての教職員は、以下の行動規範を遵守し、公正な研究の遂行に努めなければならない。

### 1 法令の遵守

教職員は、研究の実施、研究費の使用に当たり、関連の法令、通知及び本学諸規程等を遵守しなければならない。

### 2 研究活動

教職員は、自らの研究の立案、計画、申請、実施及び報告等の過程において、誠実に行動する。また、研究データや資料等の適切な管理及び保存を徹底し、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わない。

### 3 被験者、被験動物の倫理的配慮

教職員は、人間を対象とする研究において、人権の尊重と安全の確保を最優先して行動しなければならない。また、動物を対象とする研究においても、動物愛護の精神に基づいて行動しなければならない。

### 4 他者との関係

教職員は、研究の過程で入手した他者の個人情報保護に努め、適正に取り扱う。また、他者の知的財産権に係るものに関しては、これを尊重し、守秘義務を遵守する。

### 5 差別の排除

教職員は、教育、研究活動において、人種、性別、地位、思想、信条、宗教等により個人を差別せず、公平に対応し、個人の自由と人格を尊重する。また、研究上の立場を利用したハラスメントを行ってはならない。

### 6 利益相反

教職員は、自らの研究、審査、評価等において、個人と所属機関又は異なる組織間の利益の相反に十分な注意を払い、公共性に配慮しつつ適切に対応する。

### 7 不正行為の防止

教職員は、不正行為が発生した場合、その是正に努めなければならない。また、不正行為が現に行われ、若しくは行われたことを知ったときは、それを放置せず、適切な措置をとらなければならない。